



企業の負のサイクルという軌

令和8年1月14日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

これら負の連鎖は、必ず結果を誤るものである。これらは経営における正しい姿勢と行動は、それを行うものでないのである。

これら負のサイクルは誤った現実を与えるものであり、正のサイクルは正しい現実を与えるものなのである。

これらは企業内において悪しき風習や習慣が定着することを恐れるものであり、それらを断固として断ち切ることは、正しい企業経営の実現を与えるものである。

これは経営者における最優先において要求される現実であり、リーダーは必ず正しい現実の育成を求められるのである。

これら企業風土の育成は、どれだけ真摯に現実に向かったかなどは、それら正しい現実とサイクルの育成を与えるものである。

悪しき風習は決して優れた現実を与えることはできないのである。

これらは経営における決意が、それを実現できるのである。負のサイクルを断固として改め、正しい企業サイクルへ移行することは、唯一経営判断において実現できるものである。

これら経営における方針と視点、行動は、企業の健全性への回復を与えることができるものである。

これらは企業内における正しいコンセンサスの育成は、誤った現実に対して適切な判断の共有を実現できるものである。

また現実への正しい理解は正しい経営判断を実現できるものであり、社員の意識や心理的状态などは、企業経営の安定性において与えられるものなのである。